西区の西 堺市議会議員「西てつし」市政報告

2023年度 冬号

4期目の挑戦 ～半年を経て～

西区の伝統産品　注染和晒を着用して

熱いご支援をいただき、候補者が3名も増えての激戦下にも関わらず、8,070票（得票率15.68%）の得票で、三期連続トップ当選をさせていただいてから半年たちました。公職選挙法により、当選の御礼ができないのが心苦しいところでしたが、いただいた期待を胸に四期目の任期を全力で全うしていきたいと考えています。

今期は、5名で構成する会派「堺創志会」の団長の任につくことになり、市議会の各会派間の様々な調整や議会のルール作り等にも関わることが多くなりました。また、本年は総務財政委員会委員、新たな危機に立ち向かうまちづくり調査特別委員会、環境審議会委員、都市計画審議会委員、議会力向上会議委員として活動しています。

前任期の4年間の多くは、コロナウイルスへの対応が非常に大変な時期でもあり、一つ一つ市民の皆様からいただいた現場の課題や声をもとに、少しでも市民の皆様の生活を守る為の活動が中心になっていましたが、今期は、コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、季節性インフルエンザと同じ5類に移行した中で、改めて、危機管理の対応の検証やそれに基づいて将来に向けて改善の検討をしていかなければならないと考えています。また、社会が大きく変化をした中で、それに対応した新しいまちづくりをどのようにしていくかを提案していくことや、子育て支援や教育をはじめとした未来への投資の為に、どんなまちづくりが必要なのかについて議論していくことが重要と考え日々活動しています。

また、現在の永藤市政は、コロナ対策をはじめ、子育てや教育、観光施策、シティプロモーション等においても、府の負担を唯々諾々と肩代わりすることが多くあると共に、独自の取り組みがあまりなされていないことも多々ありますが、政令指定都市堺として、大阪や全国の中でも先導的な取り組みをもっと進めていくように、さらに積極的な取り組みや提案を行っていきたいと思います。

これからも、大好きな堺の為、大事な西区の為、是々非々で議論し、堺の発展の為に取り組みをさらに進めていきたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

堺市議会議員　西 てつし

プロフィール 西てつし（46歳）

よく聞かれますが、親は政治家ではありません。サラリーマン出身です。政治家の秘書から政治の世界に飛び込んだわけでもありません。

1977年　堺市内にて生まれる
1990年　堺市立平岡小卒
1993年　堺市立上野芝中卒
1996年　大阪府立三国丘高卒
2001年　関西学院大学総合政策学部卒
2003年　慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科修士課程修了
2003年　株式会社博報堂入社（06年退職）
2007年　堺市議会議員に当選（1期目）
2012年　関西学院大学講師（13年迄）
2015年　堺市議会議員に当選（2期目）
2019年　堺市議会議員に当選（3期目）
2023年　堺市議会議員に当選（4期目）

現在
- 総務財政委員会委員
- 新たな危機に立ち向かうまちづくり調査特別委員会委員
- 西区青少年指導員会副会長

声援カンパで私の政治活動の支援をお願いいたします。

これまで政治をゆがめてきた、しがらみだらけの企業献金や資金パーティと一線を画す為に、「西てつし」声援カンパにご協力をいただければ幸いです。

- 郵便振替口座番号　00920-1-328661
- 口座名称　西てつしと共に歩む1000人委員会
- 声援カンパ　一口 2,000円（何口でも結構です）

ポスターを貼れる場所を探しています

どうかご協力をお願いいたします。
もし可能な方は事務所まで、
電話・FAXもしくはe-mailで
ご連絡いただければ幸いです。

西てつし事務所　〒593-8322 堺市西区津久野町1-1-1-2F　TEL：072-260-1977　FAX：072-260-1978
E-mail：info@nishitetsu.net　http://www.nishitetsu.net　X:@nishitetsu1977

大綱質疑

8月30日と12月5日の「大綱質疑」で、会派「堺創志会」を代表し、堺市政各般にわたって議論を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

西区の伝統産品　注染和晒を着用して

●発言抜粋・要約

堺教育プランの指標管理について /8月30日/

西質問　教育プランの指標管理として、全国学力テストの堺市全体の平均点（平均正答率）のみを基にして、学力が「上がった」「下がった」等と評価するのは、統計学の観点からも文科省の方針からもおかしいのではないか。標本分布等多面的な分析をするべきではないか。

→**教育監答弁**　平均正答率は学力･学習状況の一面を示す情報にすぎない。度数分布、問題別正答率、学習習慣等を活用した多面的分析が必要である。学力向上には個々の子どもの学力の伸び状況の把握が重要である。**今後、指標については検討していく。**

→**西要望**　これまでからの方向転換として評価する。**令和の時代にふさわしい**、個別の子ども達に対応した指標づくりを求める。

テキスト生成AI（ChatGPT等）の活用について /8月30日/

西質問　ChatGPTをはじめとしたテキスト生成AIを積極的に活用することは業務の効率化に有意義だと考えるが、課題としては何があるのか。

→**推進監答弁**　情報漏洩や、文章に虚偽が含まれる可能性、著作権の侵害等がある。

→**西質問**　情報漏洩については、APIを活用することでセキュアな環境を確保することができ、文章に虚偽が含まれる可能性や著作権侵害への対応は、エンベディング(※)をしていくことによって対応できるのではないか。

→**推進監答弁**　エンベディングで回答文の正確性が高まると認識している。

→**西質問**　エンベディングをしっかりとできる生成AIを活用していくべきではないか。

→**推進監答弁**　**エンベディング機能の有効性や活用における留意点を確認し、必要な事務負担、費用対効果について研究する。**

※）エンベディングとは単語や文といった自然言語をベクトル空間に配置し、その位置関係から要素間の関係性を数値化するものです。

津久野駅前のまちづくりについて /8月30日/

西質問　2015年に津久野駅周辺の様々な課題解決の為に、まちづくりの重要性を訴えて以降、何度も本会議･委員会で議論し要望してきた。津久野駅周辺の再整備に関する今年度の取り組みについて示されたい。

→**局長答弁**　公共施設の配置、都市機能更新に向けた施策といった具体的な課題解決の方向性を示す構想案の作成に取り組んでいるところ。津久野駅前プロジェクト協議会の活動に対する支援も昨年度に引き続き実施する。URの建物所有者へ個別面談を行ったことが契機となり棟ごとに集まって意見交換を希望する声が高まり、棟別検討会が開催され、5月以降、将来の建物更新に向け意見交換が続けられている。

→**西要望**　**引き続き積極的な取り組みをお願いする。駅周辺、駅勢圏全体の声をしっかりと受け止めていただき合意形成を図ってほしい。**

人口誘導とストックの活用（空き家対策）について /8月30日/

西質問　西区内においても空き家が急増している。長年空き家対策について議論してきたが、空き家が増えると、街に活力がなくなるばかりか防犯上の課題も多くでてくる。また、対策をしっかりと行うことが人口誘導につながるのではないか。これまで議論してきた取り組み内容について示されたい。

→**局長答弁**　空き家の除却が人口誘導につながると認識している。空き家の利活用の提案を行う、「堺市空き家等利活用支援制度」を実施している。解体費用や売却概算額を無料で査定できる仕組みや、著しく危険なものと判断した空き家については固定資産税の特例措置解除を実施している。また耐震性のない住宅の除却費用補助や空き家の取得費用の一部補助等を実施している。

→**西質問**　空き家の特徴に応じた施策を積極的に進めていくべきではないか。

→**局長答弁**　5年前に調査を実施した**空き家等実態調査を再度実施し、建物状況や立地状況等特徴に応じた効果的な空き家施策を検討する。今年度、空き家施策を重要取り組みの一つとして位置付ける。**

合葬墓について /8月30日/

西質問　「墓じまい」の拡大に伴い、市営墓地における、従来のお墓とは全く異なる形となる合葬墓の整備の必要性について長年議論、要望してきた。それを受けて整備を決めたが、スケジュールと内容を示されたい。

→**局長答弁**　**2023年度に整備工事に着手し、2024年度に利用者の募集を行う予定である。**施設は、参拝のシンボルとなる慰霊碑や献花台、1万6000の御遺骨を埋葬できる合葬室、希望者には埋葬者の氏名を記すことができる記名板を設置する予定。

→**西要望**　「墓じまい」を希望されている方の趣旨からいえば、記名版を残せることが併存していていいのか疑問。残す人と残さない人が物理的に分離されることを求める。

自転車のまちづくりについて /8月30日/

西質問　2022年1月に警察庁交通局長名で自転車のまちづくりや**交通安全**について通達がでている。内容を示されたい。

→**局長答弁**　自転車通行空間の整備、交通安全教育や広報･啓発、交通違反に対する指導･取締りを積極的に推進していくように各都道府県警察に求めている。

→**西要望**　堺市が取り組みを進めてきた内容と歩みをそろえてきたものである。しっかりと連携することを求める。

子育て支援について /8月30日/

西質問　子育て支援施策は、人口誘導や少子化対策に有効なものとする為には短期的な取り組みではなく中長期的な視点で施策を実施すべきではないか。

→**局長答弁**　中長期的な視点を持つことは重要であり、とりわけ子育て支援など市民生活に係る施策については慎重に検討する必要がある。

→**西質問**　2020年に市長が、多子世帯の保育料無償化を急遽延期したことはそれぞれの世帯の人生計画に影響をあたえたのではないのか。

→**局長答弁**　人生計画への影響については皆様それぞれ事情が異なるので、市として判断することは難しい。

→**西要望**　限りがある財源の中で、子育て支援施策は人生計画に影響があるものでなければならないし、そのようなインパクト（悪影響）があったことはしっかりと認めることから次の政策･施策を考えることにつながるはず。

津久野小学校体育館長寿命化改修他工事について /12月5日/

西質問　体育館老朽化への対応として整備を行うと聞いているが、いつまでの工期か。

→**局長答弁**　2025年2月28日までの予定となっている。

→**西要望**　埃や振動や学校利用者への安全配慮、ガードマンの配置等について地域からの意見、要望等にしっかりと対応することを求めると共に、創立150周年事業までに確実に完了することを求める。

木材活用と森林環境保全について /12月5日/

西質問　木材の利用促進の為に森林環境税として費用が堺市に交付されており、その積極的活用について提言してきたが、どのように活用されているか。

→**局長答弁**　活用ガイドラインを策定し、公共建築物の木造化･木質化、木製什器の設置等を対象としてきた。

→**西要望**　備品購入等の総額に充当されているが、法の設置趣旨に基づいて、木質化に要する追加コストにのみ活用するよう求める。

その他「永藤市政全般」「療育と堺市立こどもリハビリテーションセンター指定管理者選定」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

決算審査特別委員会分科会

決算審査特別委員会分科会において、9月6日（産業環境委員会所管事項）で約44分間、9月7日（文教委員会所管事項）で約40分間、9月8日（健康福祉委員会所管事項）で約45分間、質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

電子マニフェストについて

西質問　事業者が産業廃棄物を捨てるにあたって、マニフェスト（廃棄物管理票）を提出する必要があるが、DX（デジタルトランスフォーメーション）の中で、入力の人件費や入力ミスのチェック等の負担軽減や、報告書の保管場所や管理の負担軽減、適正な処理の推進等の観点から、電子化への取り組みを環境省からも要請され、堺市も各事業者にマニフェストの電子化を求めている。堺市域のマニフェストの電子化率はいくらか。

→**課長答弁**　推定値で70.3%となっている。

→**西質問**　排出者としての堺市は、何件電子化しているのか。

→**課長答弁**　マニフェスト発行件数6000件のうち電子化したものは**0件**となっている。

→**西質問**　驚くべき結果。早急な電子化をするべきではないか。

→**課長答弁**　DX推進の観点からも堺市の排出しているごみのマニフェストについて、**早急に電子化を進める。**

リユース促進について

西質問　ジモティを活用した粗大ごみのリユースの取り組みを求めてきたが成果について示されたい。

→**課長答弁**　ジモティと令和4年6月に連携協定を結び、清掃工場で取り組んでいる。令和5年1月から半年間で合計121品、981キログラムを出品し、94品714キログラムをリユースすることができた。

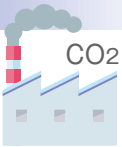
→**西要望**　世田谷区のリユーススポット等の先進事例等の研究を求める。

温暖化対策の取り組みと産業振興について

西質問　産業振興局と環境局とが連携して、昨年Scope3の説明会を開催した。発注先を含むサプライチェーン全体の二酸化炭素排出量の見える化が求められ始めている。市域の排出抑制をどうするかという従来の議論だけにとどまらずに、脱炭素経営や二酸化炭素排出の見える化を進めることが、**堺市内の企業の発注増加や産業振興につながる**という前向きな視点が重要になってくるのではないか。

→**課長答弁**　脱炭素経営の為の勉強会等の開催を検討する。CO_2排出量の見える化ツール等の紹介、専門家派遣制度の活用、事業者向け支援制度の紹介などを通じて、**持続的発展に向けた具体的な取り組みを促していく。**

再生エネルギーの活用とPPAについて



西質問　市内企業や堺市役所が脱炭素経営を進める中で、PPA（Power Purchase Agreement:電力販売契約）の議論が重要になってくる。建物の面積の大きさによっては、オフサイトPPAという方策の検討やマッチングも重要になってくるのではないか。

→**課長答弁**　市有施設の屋根や遊休地などに太陽光発電設備を設置して、その電力や環境価値を市と取引する**オフサイトPPAの事業を計画していく。**

PFAS（有機フッ素化合物）規制への対応について

西質問　普段の生活の様々な場所でPFASは使われている。そのPFASの規制の議論が急速に進んでいる。実態を把握していくことが重要ではないか。

→**課長答弁**　1月に環境省に専門家会議が設置し議論が進んでいるので注視していく。対応策が示されたら取り組みを早急に行う。

→**西質問**　環境問題への取り組みや産業振興の観点からも、規制への対応を速やかにおこなっていくことが必要。

ICT活用と視力検査について

西質問　授業での過度なICTの活用によって視力低下の懸念がある。9月1日に文科省から視力維持の為に2時間程度屋外で過ごすべきとの資料が発出されている。教育でのICT活用先進国のように屋外でのカリキュラム拡大等も含めて総合的に考えていくべきではないか。

→**教育監答弁**　**本市としてできることをしっかり考えてやっていきたい。**

西質問　GIGAスクールによってパソコンを使っている時間がどのように視力低下に影響しているのか、調査･分析

をしていくべきではないか。

→参事答弁　文科省に調査･分析を要望すると共に、本市としてパソコンの利用による視力低下の分析について何ができるか考えていく。

働き方改革と地域活動（PTA・子ども会）について

西質問　働き方改革について様々な取り組みを提案し実現してきた。今般、働き方改革に関連して学校園に対して出した通知により、PTAや子ども会に対する学校側の関与が無くなる方向になっている事例があり問題である。学校が地域団体やPTA、子ども会と一緒に学校を盛り上げていく、関わっていくことが回り回って、教員の負担軽減につながり、子ども達の為にもなるのではないか。

→課長答弁　学校園と地域が手を取り合い、地域と共にある学校づくりを進める、そのことがひいては教員の負担軽減につながると認識している。

その他「修学旅行や校外学習と教員の費用負担」「元日高少年自然の家」「アスマイルの費用対効果」「社会福祉法人の指導監査」「リハビリテーションセンターの指定管理費用と療育（発達支援）」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

総務財政常任委員会

総務財政常任委員会として、9月22日に約57分間質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

DXの意義について

西質問　DXの推進は有意義だが、何の為にやるのかをしっかりと認識しないと手間が増えるだけになる。職員の事務負担が増加した事例もある。個別の見直しばかりを狙うと市民サービスの向上につながらない。DXの意義をしっかりと認識するべきではないか。

→課長答弁　個別の業務プロセスの見直しではなく、電子申請を含めた業務の運用全体を見直して、市民サービスの向上を図ることがDXであると考える。

その他「ICTイノベーション推進室の他局との連携とICTリテラシーの向上」「公民連携における自治体の役割」「職員の昼休み」について取り上げました。詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

審議会

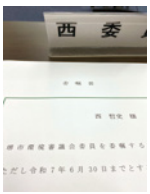
8月8日、11月22日に都市計画審議会、11月15日に環境審議会が行われ、議会選出委員として様々な議論をさせていただきました。

都市計画審議会

今年度、都市機能の集約化の議論が都市計画審議会では盛んに行われています。11月22日の都市計画審議会では、西区の例をもとに、都市機能の集約化をする場合は、集約拠点までの公共交通（バス･乗合タクシー等）の充実の為の施策がセットでなければならないと提言を行いました。

環境審議会

「堺市地球温暖化対策実行計画の概要」「堺市一般廃棄物処理基本計画の進捗状況」について議論になり、電力構成に影響を受ける排出係数に依拠した排出量ではなく堺市の取り組みによる排出量の変化をしっかりと評価できるようにすべきと提案しました。また、堺で建設されるSAF（持続可能な航空燃料）プラント等によって二酸化炭素削減につながること等が正当に評価される仕組みづくりを求めました。あわせて、プラスチックの再製品化等についても議論しました。



整備案件

自治会役員の皆様や地域の皆様、担当課をはじめとした様々な方々のご協力を得ながら地域の安全なまちづくりについて、住民の皆様から頂いた要望の実現に努めることができました。下記以外にも実現途中のものがありますので引き続き実現に努めます。（五十音順）

◎上野芝小学校前舗装本復旧
◎上野芝中学校横除草作業
◎上野芝向ヶ丘町カーブミラー補修
◎上野芝向ヶ丘町止まれ表示塗り直し
◎神野町道路柵補修
◎津久野町道路柵補修
◎浜寺石津町中注意喚起看板設置
◎東上野芝町交差点道路上進路表示設置
◎平岡町道路段差補修
◎堀上緑町カーブミラー設置（2件）
◎堀上緑町注意喚起看板設置（2件）

最近の出来事

中学校給食について

2009年の本会議で、「母親を甘やかせるな」等と質問中に批判されながらも推進や導入に取り組んできた中学校給食ですが、選択制を経て全員喫食の中学校給食が、導入に向けて進んでいます。西区の中学校の給食は、堺市中区・堺市泉北水再生センターの中に建設予定の給食センターで調理されることになっており、2025年6月からの開始を予定しています。このセンターを積極的に活用した食育の推進や、食品リサイクルの推進についても積極的な取り組みを求めています。

使用済み紙おむつの持ち帰り

こども園の子ども達の使用済み紙おむつの処分について、堺市内の民間認定こども園等では約7割が園での処分を実施しているにも関わらず、公立こども園は16園全てで保護者の持ち帰りになっている現状について、保護者からお聞きした声をもとに、2020年12月の委員会で取り上げ、保護者や保育士の負担軽減の為や、衛生上の観点から改善をするよう求めました。この質疑は、MBSのニュース番組でも取り上げられました。その結果、堺市は保護者アンケートを行い、今年度から、堺市内の公立こども園においても使用済み紙おむつを園で処分する方針へと転換しました。

臨海工業地帯「命の道」プロジェクト

石津川駅の海側の臨海工業地帯において、東西を貫く道路が1本しかない為、地震などの発災時に液状化やトラックの横転でこの道路が使用できなくなった場合に、臨海工業地帯で働く方々が避難することが不可能になることへの対応について、会派として議会で何度も取り上げ、協議の場づくりについて議論をしてきました。9月5日に、堺臨海地区労働組合連絡協議会と地域の企業9社と堺市危機管理室と我々の会派との意見交換を開催することができ、発災時に、企業間の企業内通路をつないで避難する方法（通称「命の道」）のルール作りについて検討がはじまりました。

南海本線連続立体交差事業

南海本線の石津川付近から羽衣駅間の約2.7キロで、令和9年度の完成を目指し連続立体交差事業の工事が行われており11月15日現場視察を行いました。7つの踏切が除却され、国道26号線と旧国道26号線（府道204号線）との連絡が良くなると共に、渋滞の解消や、事故防止、線路で分断されていた地域の一体性の確保等が期待されており、議会や市長との懇談等様々な機会で、地域の声を聞きながら進めるように要望し取り組んできました。工事の遅れの可能性がとりざたされていますが、工事の安全な進捗を見守りながら、周辺道路の整備、改善も含めて取り組んでいきます。

SAF（持続可能な航空燃料）

温室効果ガスの大きな要因の一つが航空燃料であることは長年指摘されてきましたが、航空燃料に天ぷら油等の廃食用油を混合し二酸化炭素を削減する研究開発が世界中で進み、大きな注目を集めています。その国内初の大規模生産設備が「環境モデル都市」堺で建設されることになり2023年5月に着工しました。このSAF（持続可能な航空燃料）への支援を2022年夏から様々な場所で訴え、2023年3月の産業環境委員会でも取り上げました。これを受け、堺市は「Fry to Fly Project」への参加を表明し、広報や廃食用油の回収等をはじめとして積極的な支援を行うことによって、環境イノベーション都市づくりや脱炭素の取り組みを進めていくことになりました。

津久野駅周辺再開発プロジェクト

11月に津久野駅周辺再開発プロジェクトについてのワークショップが、周辺地域の方々が出席して開催され、駅周辺の課題や再開発で目指すべき姿について様々な意見が出されました。2015年に市議会で、東西往来が困難なことや駅前ビル耐震化、バリアフリーの必要性、駅周辺活性化等について議論しまちづくりの必要性を訴えはじめた当時は、議会や市役所は、「西は何を言い出したのか」という雰囲気でしたが、「好きやねん津久野」をはじめとした地域の方々の主体的な取り組みと連携しながら多くの質問や議論をすることができました。その結果、担当課ができると共に、まちづくり支援予算がつき、2022年には都市再開発法に基づく2号地区に指定されました。現在、駅前ビル3棟の権利者の意見交換会や、堺市当局による新たな構想案の作成等が行われています。

市政に関するご意見をお寄せください。
西てつし　市政相談所
〒593-8322　堺市西区津久野町1-1-1-2F
TEL.072-260-1977 FAX.072-260-1978
E-mail : info@nishitetsu.net　Twitter : @nishitetsu1977
http：//www.nishitetsu.net